

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 <b>7/7</b>
	<b>評価項目1</b> 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float: right;"><b>評点(〇〇)</b></span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	<b>評価項目2</b> 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;"><b>評点(〇〇)</b></span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float: right;">○非該当</span>
	<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float: right;"><b>評点(〇〇〇)</b></span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	カテゴリー1の講評	
	<b>地域に根ざした実績により培われた信頼が運営の幹となっている</b> この地に60年以上保育園・認定こども園として存し、多くの卒園児輩出と児童福祉と地域への貢献がなされており、その実績は地域からの信頼と安定した運営に繋がられている。法人理念・保育基本理念は園のホームページ、パンフレットに掲載され広報されているほか、職員には保育者の心得とあわせて書面が配布されており、常に忘れることのないよう読み合わせや確認にあたっている。	
	<b>業務分掌と業務イメージにより職責が明確化されている</b> 業務分掌が作成されており、園長をはじめとする職責に対して役割が明示されている。更に業務イメージと題し細かな業務内容についても一覧表として明確化されている。また業務の執行や会議の決議に対してはそれぞれ、検証者、決定権者が定められている。責任ある業務、スムーズな運営を可能とするとともに業務や責任の過度の集中を防ぎ、効率的な活動となることを目指して行われている。	
	<b>決定事項の伝達方法に法人・園の前進する方針を見ることができる</b> 園長会議、主任会議、職員会議の各種会議は出席者とその内容が規定されているばかりでなく決定権を持する者も定められており、スムーズな会議運営と職責の明確化が促されている。各種会議録はクラウドを活用した専用ネットワークにより見られる環境が整えられており、欠席者等への情報共有を可能としている。本取り組みからはハードとソフトの両面において新しいアイデアを導入しており、未来に向けて前進する法人・園の方針を感じる事ができる。	

2			カテゴリ-2	
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行				
サブカテゴリ-1(2-1)				
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している			6/6	
評価			標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		○非該当	
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当	
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		○非該当	
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		○非該当	
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		○非該当	
サブカテゴリ-2(2-2)				
実践的な計画策定に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している			5/5	
評価			標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		○非該当	
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		○非該当	
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		○非該当	
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる			評点(00)	
評価			標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		○非該当	
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		○非該当	

カテゴリー2の講評

利用者アンケートの実施により保護者の声を把握している

意見箱の設置、登降園時のコミュニケーション、面談等により保護者の意見収集に努めてきたが、更に本年度よりアンケートの実施がなされている。実施は園やクラスに慣れてきた時期を勘案しており、率直な意見を出してもらえるよう配慮に努めている。保護者からの細かいニーズに対しては、園でできることとできないことを判別し、運営への貴重な意見として取り入れるよう取り組んでいる。

社会環境への考慮と資質向上を謳った中期計画が策定されている

法人として中長期を見据えた計画が策定されており、今後の進むべき道が記されている。業務の標準化と研修体制の整備をもとにした職員の資質向上、人口構成や女性の社会進出等の社会情勢に鑑みた環境への対応が書かれており、未来に向けた方針を発信している。園の今後の運営に対して人材確保を含めた組織力の向上は必須であり、職員ならびに関係者に対して能力と英知の結集を呼びかけている。

事業計画書と報告書の策定により計画の立案と検証がなされている

法人および園の双方として年度ごとに事業計画書が策定されており、事業報告書をもって検証がなされている。全体的な計画による保育だけでなく、併設の学童クラブ、子育て支援センターも併記されており、事業全体が理解できる内容となっている。また行事は年度はじめには具体的日程が明確化されており、多くの保護者の参加が可能となるよう配慮している。

カテゴリー3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

2/2

評価項目1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当

サブカテゴリー2(3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目2

虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリ-3(3-3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況 **5/5**

評価項目1  
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-3の講評

**親しみやすいサイズと表現にて職員向けにルールブックが作成されている**  
法人として職員に向けて「ルールブック」と題し、職員に求めることから身だしなみまで盛り込まれた冊子が発刊・配布されている。服務規程や園則などがわかりやすい言葉やイラストを用いて表現されており、A6サイズにコンパクトにまとめられている。今後は新入職員向け研修や採用面接での活用を検討しており、広く親しまれるツールとなることが期待される。

**苦情解決制度を明示している**  
入園進級準備会にて配布される文書等において苦情解決責任者、受付担当者、第三者委員の氏名が明示されるなど苦情受け付け体制が整備されている。また苦情受付マニュアルが設置されており、適切な対応が図られるよう体制が整備されている。またコミュニケーションを図り、誰もが気軽に意見を言える園となるよう意識することで保護者に寄り添う運営の実践に努めている。

**種々のネットワークを活用し、情報の収集と交流にあたっている**  
市内保育園で構成される保育連絡協議会、市内の養護・障害・高齢等分野の垣根を超えて参画する福祉関連連絡会等のネットワークに参画し、社会情勢や子ども・保護者を取り巻く環境の情報を収集するよう努めている。各事業所を訪問する見学会や保幼小連携等々をはじめ各種活動に参加し、地域福祉への貢献が果たされている。

カテゴリ-4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリ-1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況 **5/5**

評価項目1  
事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>細分化されたリスク対応マニュアルが設置されている</p> <p>リスク対応については、危機管理、散歩、健康管理、アレルギーをはじめとするマニュアルが設置されており、特に事故に関しては予防と発生を別にするなどの細分化が図られている。各種ガイドラインとこれまでの経験を参考にして作成されており、書面はもちろん、園内のネットワークを介してパソコン上でいつでもでも閲覧できる環境が整備されている。</p> <p>避難訓練、ヒヤリハットの記録等により万一の事態に備えている</p> <p>火災想定等の避難訓練が毎月実施されており、避難方法の徹底等対策が講じられている。またヒヤリハット報告書、事故報告書が設定されており、経験則を活かしながら子どもたちの安全確保に努めている。更なるリスクマネジメントとして、保護者への引き渡し訓練を実施しており、今後はヒヤリハット報告書の集計・分析を実施する意向をもっている。法人内他園や行政の統計等との比較等活用が期待される。</p> <p>規定とルールにより適切な情報管理がなされている</p> <p>文書の管理については、保存年限等保管・廃棄について園則に規定されており、適切な処置を講じている。子どもの個人情報を含む各種文書は鍵付きの書庫にて管理しており、データについては、パスワードと機器の使用制限によりアクセス権限の設定をし、保守がなされている。またクラウドを利用したネットワークについても職務・階層別にアクセス領域が設定されており、便利さと確実な情報管理の両立を図っている。</p>		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 10/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

<b>評価項目3</b> 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		<b>評点(○○●●)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
<b>評価項目4</b> 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		<b>評点(○○○○)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		<b>サブカテゴリー毎の標準項目実施状況</b>
		<b>3/3</b>
<b>評価項目1</b> 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		<b>評点(○○○)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
<b>カテゴリー5の講評</b>		
<p><b>プロジェクトチームの編成により人材確保にあたっている</b></p> <p>折からの求人難に対しては本保育所についても例外ではなく、可及的速やかにかつ継続した課題として取り組んでいる。プロジェクトチームを編成し、「お仕事説明会」の開催や随時の面接・見学対応等園および法人全体として取り組む体制をつくっており、これまでの経験を活かすよう改善に努めている。特に学生の見学や面接に際しては、気軽に来られるよう・相談しやすいよう職員配置を工夫しており、その効用を確認している。</p> <p><b>事業所内外の研修により自己研鑽がなされている</b></p> <p>事業所内研修計画が策定されており、保育の質の向上やリスクマネジメント対策について学習がなされている。また外部研修についても各種団体主催のものを活用し、積極的な参加に努めている。出席後は研修報告書が提出され、更に園内ネットワークにより全職員が閲覧可能としており、知識の水平展開を考慮した体制が整備されている。今後は、目標抽出、自己評価、研修受講、面談等がそれぞれに独立しているものをまとめ、職員のキャリアデザイン形成の主眼のもと関連・連携した仕組みの構築と効率的な運用が期待される。</p> <p><b>休日取得等職員の働きやすさを意識した運営に取り組んでいる</b></p> <p>休日の取得、時間外労働の削減については、管理簿・申請書等の書式が整備されており、適切な運用に取り組んでいる。特に年次有給休暇取得を奨励するなど管理職も含めた園全体の意識改革を行い、その成果を確認している。また県の「多様な働き方実践企業認定制度」においてプラチナ位を受賞するなど行事準備や事務処理時間についても時間確保や人員配置に配慮し、より働きやすい職場環境形成に尽力している。</p>		

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

29年度は安心・安全な保育の実践を安定した園児数の維持に繋げることを目的として業務の標準化と整備に取り組んでいる。各種規程をはじめ、リスク管理マニュアルの細分化、各種書式の見直しを図り、安定した運営を実現している。園児数の目標270はわずかにおよぼす266という結果になっており、検証結果は事業報告書にまとめられている。30年度は保育指針の改定に伴い、この検証結果を全体的な計画や年間指導計画の改訂に繋げている。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

業務の標準化を安定した運営に繋げることを目標としており、具体的な数値を表すため、園児数270名を目標数値として設定している。また目標達成の手段として規程およびマニュアルの細分化と見直しと書式整備をあげており、業務の標準化によるリスクヘッジの充実を図っている。年度の成果については、検証し、事業報告書にまとめられ、法人への報告がなされている。また具体的な数値についてはわずかに及ばなかったものの、園内の取り組みとしては評価できる数値となっている。また30年度は保育指針の改訂による各種変更がなされており、29年度の計画・検証を大いに反映するかたちで実行している。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

職員数の確保を法人および園として掲げ、目標値を設定して取り組んでいる。お仕事説明会の開催、求人媒体への掲載をはじめ、随時の説明会開催、内定者フォローを実施している。結果として法人・園ともに目標の採用数を達成している。検証結果からお仕事説明会と随時の説明会開催が内容的に重複していることからその整理を検討している。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

29年度は折からの採用難から他園同様人材確保を重要課題として設定している。法人全体としての数値、園としての数値を設定しており、次年度において職員不足や配置への影響がでないよう尽力している。お仕事説明会の開催、随時の説明会は若い管理職を担当者として、気軽に来られるよう配慮しており、入職1年目の職員による紹介文の掲載等、求職者に目線を合わせるよう工夫した取り組みがなされている。また内定者フォローとして行事に招待したり、ボランティアとして参加してもらったりと園の雰囲気伝えるよう努めている。尽力の結果目標を達成している。30年度は各取り組みの整理をし、効率的に進められるよう検討が図られている。